

◆単元のポイント

○『共存・創造・意志』

子供の実態をとらえ直し、どんな子供の育ちを願うのかを十分話し合うことが大切です。そこで、《共存》《創造》《意志》をコンセプトに、スタートさせます。

○単元開発のテーマは、学校や地域のよさの再発見

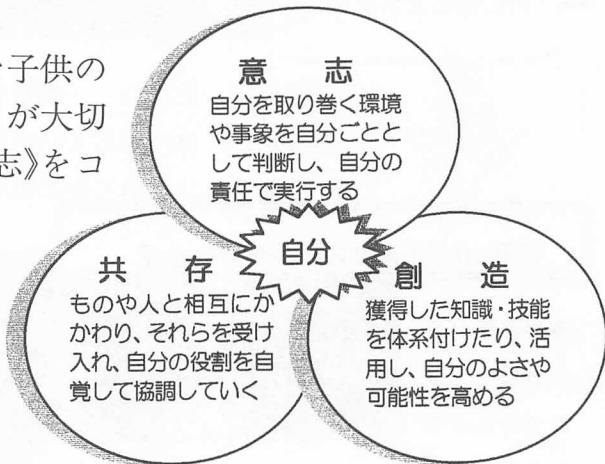
低学年の子供が「自ら問題を見つけ、繰り返し必要に応じてかかわりながら、気付きを深めて」いくことができる最適な学習材は、やはり、身近な学校や地域の中にあります。子供が活動する中で《共存》《創造》《意志》を發揮し、より充実させていくような単元を新たに創り出そうとすることが大切です。

○学校中の子供相互の関係のよさを生かして『いっしょにあそぼうよ』へ

『いっしょにあそぼうよ』は、子供同士の関係のおだやかさを基盤に創った単元です。2年生の子供であっても身近に感じられ、安心して働きかけていける全校の明るく温かな雰囲気が、活動のきっかけになり、追求を深める意欲になり、子供たちが自ら活動を展開しています。

○追求過程での一人一人の育ちに目を向けて

活動中は、《共存》《創造》《意志》へ向かう子供一人一人の個性的なたどり方を尊重します。子供の側の必然性を重視した活動の展開に心がけ、子供をありのまま受け止め、ゆとりをもって育ちを促したり待ったりできるようになります。



共 存

- ◆自分もみんなも楽しめる遊びを求め、友達と協力して道具作りや準備をする。
- ◆他学年の子供たちともいっしょに遊びを楽しむ。
- ◆他学年の子供たちともなかよくできたことを喜び合い、親しみを深める。

創 造

- ◆自分もみんなも、より楽しめる遊びを試行錯誤しながら考え出す。
- ◆必要な材料を集めて、それらを活用し自分なりに工夫しながら道具作りや準備をする。

意 志

- ◆楽しく遊ぶことにこだわり、進んで遊びを見直したり、より多くの子供たちとかわったりしようとする。
- ◆自分らしく働きかけることによって、他学年も含めたみんなとなかよくしたいと思う。

◆単元の構想（11時間扱い）